



幼稚園だより 10月号

令和5年9月29日

中央区立豊海幼稚園 03 (3533) 0725

HP <http://www.chuo-tky.ed.jp/~toyomi-kg/>

教育目標

- げんきな子
- やさしい子
- がんばれる子

<怒る・叱る・諭す 子どもの心に響く伝え方は？>

園長 山口 晃司

「怒る・叱る・諭す」は、どれも相手のことを思って行動する言葉ですが、それぞれの言葉の意味合いは、似て異なるものです。ここで、それぞれの言葉の意味を振り返ってみます。

○怒る・・・「相手に感情のままに不満をぶつけること」

○叱る・・・「相手の非を正すために、あえて強い口調で伝えること」

○諭す・・・「年下・部下等の人に対してものの道理を教え、理解させること」 (正しい日本語.COMより転記)

子どもたちの話を聞いていると「汚したらお母さんに怒られるから、砂遊びはやらない」や「朝ごはんをはやく食べなかったから怒られて遅刻した」はたまた「お弁当を残すと怒られるから・・・」というようなことがあります。このような子どもたちの発言に対して、我々教員は、「元気いっぱい遊べるように、汚れてもいい服にしておもう」と伝えたり、「朝早く起きて、ご飯を食べ始めてみたら」「お弁当の量を少なくしてもらったら」等と提案したりしています。怒られるから行動を変えるのではなく、自分なりにその意味合いを捉えて行動していけるように声を掛けています。「叱らない子育て」や「ほめる子育て」等、育児雑誌やネットで情報が氾濫していますが、この方法が正解であるとは言い切れません。大人の表す喜怒哀楽をしっかり子どもに見せていいと思います。大切なのは、大人が感情のままに頭ごなしに叱りつけ「怒られた・叱られた」という思いを子どもたちに抱かせないことではないでしょうか。家庭の数だけ、子育ても多様であると私は考えます。保護者の皆様はどうですか。子どもたちの声を聞き、向き合っていきましょう。

<秋の身近な自然を子どもたちと楽しむ>

本園は、園内研究を「身近な自然とのかかわり」をテーマに、子どもたちが園内で「気付いたり、発見したり、驚いたり、感動したり」等、心を動かし、楽しんだことを分析・考察して、日々の実践の充実を図っています。玄関に、各学年の実践事例をコラム形式で掲示したり、「とよみはっけんマップ」に子どもたちの発見を写真で貼ったりして、自然への気付きや発見をみんなで共有できるようにしていますので、ご覧ください。秋は、「虫の声」や「まっかな秋」等、我々は、歌で季節を楽しんできました。空の雲や月を眺めたり、虫の声に聞き耳を立てたりと親子で季節を感じ、心とむ過ごし方をしてほしいと願っています。

秋風にたなびく雲の絶え間より もれ出づる月の影のさやけさ 左京太夫顕介

<各学年のねらいと主な活動>

年少組	年中組	年長組
<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要なことが分かり、自分からしようとする。 ○自分のやりたい遊びを繰り返し楽しむ。 ○教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かすことを楽しむ。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼遊び「おおかみさん」 ・かけっこ ・歌「どんぐりころころ」「たべものれっしゃ」 ・リズム「パチパチマン」 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要なことに気付いて、自分から丁寧に行おうとする。 ○友達との関わりの中で自分の思ったことを言葉や動きで伝えたり、友達の思いを聞いたりする。 ○遊びのルールが分かり、みんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼遊び「しっぽとり」(2チーム対抗) ・折り紙「きのこ」 ・かけっこ、玉入れ ・折り紙「きのこ」 ・歌「きのこ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思ったこと、考えたことを相手に分かるように伝えたり、友達の考えを受け止めたりしながら、一緒に遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。 ○学級の課題に向かって、自分の力を発揮したり、友達と一緒に力を合わせたりし、やり遂げた充実感を味わう。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バラバルーン ・周回リレー ・自然物を使った遊び ・歌「なかまはたから」

